



姫路城（白鷺城） Himeji Castle

築城年代：1333年(元弘3年)ごろ～

主な城主：赤松氏、小寺氏、黒田氏、羽柴氏、木下氏、池田氏、本多氏、松平氏、榊原氏、酒井氏

所在地：兵庫県姫路市本町68 アクセス：JR姫路駅から北へバスで5分、徒歩で15分

**町**の中心の小高い丘に、**薨**を重ねそびえる城。雄々しく飾り立てた天守は、朝夕の陽に照り映えて、見上げる者の心を満たす。かつての日本では、各地で見られたはずの風景である。しかし時代とともに城は失せ、今や天守が現存する城は12を数えるのみとなった。その中で姫路城は、残存規模、意匠の華やかさの両面において突出している。

姫路城は標高45・6メートルの姫山に建つ。積まれた石垣は総重量10万トン以上といわれ、白壁によって折れ曲がり連なる門と櫓は82棟に及ぶ。頂には、三つの小天守と五重七階の小天守が並び立ち、間近に見上げると、幾重にも重なる屋根瓦が視野のすべてを覆い尽くし、圧倒的な存在感で迫りくる。

春は桜色に染まり、夏は濃い影を刻み込み、秋は群青の空を反射し、冬は雪に溶ける白壁の天守。日本人が失くした景観を鮮やかに体現する姫路城は、400年変わらぬ姿でわれわれに内なる故郷を見せてくれる。

## 癒しの系譜～名城

お城めぐりFAN <http://www.shirofan.com/>

文／倉本 実紀 写真／岡 泰行  
Miki Kuramoto Yasuyuki Oka

